

お口爽やかですか

テーマ 8020 (ハチマル ニイマル) 運動が浸透

平成19年度・北海道高齢者歯のコンクール表彰式 市内の小田さんが全道一、海老名さんが2位

11月10日(土) 午後1時
北海道歯科医師会館で、80歳で自分の歯が20本以上持っているという8020(ハチマル ニイマル)を達成した高齢者を対象にした北海道コンクール表彰式がありました。

本年度は、同コンクールに全道から208人(上川管内52人)の応募があり、今年も旭川勢は優秀な成績を修めましたので、ご紹介します。

北海道一の最優秀賞には、市内緑ヶ丘にお住まいの小田潔さん(写真下・右から3番目)、第2位の準最優秀には市内東光の海老名てるのさん(同・左から3番目)が選ばれ、北海道知事ならびに北海道歯科医師会会長から表彰されました。2人とも自分の歯が28

本以上あり、歯・口の健康状態はいずれもすばらしく、身体も若々しく健康で当日表彰式に参列していた旭川歯科医師会の役員も大喜びで、ご両人を真ん中に記念撮影となりました。

過去10回のコンクールの中で、第1回は松村春吉さん(美瑛町)、第2回は



染川健一郎さん(旭川市)、第4回は高橋美和さん(同)と、コンクール開始当初から当地区代表者の8人が全道一に輝いています。

これは、旭川歯科医師会が旭川市など行政と協力して、自分の大切な歯を残す8020運動を進めている成果といえるでしょう。



地区大会で52人が「8020達成者認定証」入賞者は10人

また、去る9月8日に開催された旭川歯科医師会管内の地区大会では、8020達成者52人全員に北海道歯科医師会から「8020達成者認定証」が贈られました。

地区大会で入賞した方は、小田潔さん、海老名てるのさん、中澤賢一さん、高橋正喜さん、秋川芳美さん、竹田和夫さん、平川幸二さん、小林弘さん、安達シカさん、白取幹子さんの10人でした。

いずれも自分の歯が28本以上という見事な歯を持つ健康人でした。